

## 令和4年度 第2回 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議概要

1 日 時：令和5年3月20日（月）午前10時～午前11時20分まで

2 会 場：新発田市シェアオフィス「キネス天王」

3 出席者：石坂会長、高澤委員、川上委員、平川委員、高橋委員

### 【事務局】

新発田市商工振興課：小林課長、樋口専門官、中村係長

新発田市みらい創造課：原課長、齊藤係長、鈴木主任、宮崎主事

胎内市総合政策課：本間課長、三浦主任

聖籠町総合政策課：小林課長補佐、横山主事

4 会議概要 ※次第に沿って進行 司会進行：事務局

### ○開会

※事務局から委員紹介（書面）、欠席委員の連絡、資料確認

### ○あいさつ

#### 【事務局】

「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン懇談会」は、新型コロナウイルスの影響により、委員の皆様にお集まりいただいたの開催は4年ぶりとなる。

本懇談会は、圏域が抱える人口減少という課題について、連携して取り組むことのスケールメリットなど、民間の皆様方と意見交換をさせていただく場である。行政の視点だけではなく、実際に取組を行っている皆様からのご意見を頂戴したい。

本日の議事は①連携事業の進捗状況報告とビジョン別冊の改定について②キネス天王の施設説明と現地見学の2つである。

### ○議事

「(1) 連携事業の進捗状況等について、共生ビジョン別冊の改定について」

#### 【会長】

現在、圏域で実施している事業の進捗状況について、事務局に説明をお願いしたい。

<令和4年度定住自立圏取組の進捗状況について（第一期ビジョン）>

※事務局から説明

<令和4年度定住自立圏取組の進捗状況について（第二期ビジョン）>

※事務局から説明

<共生ビジョン別冊の改定について>

※事務局から説明

【会長】

ご意見やご質問がありましたらお願いしたい。

《「シェアオフィス設置及び運営事業」について》

【委員】

KPI では累計入居企業が 10 企業となっているが、どのくらいの企業が入居できるのか。

【事務局】

使用可能な部屋は 12 部屋である。

【会長】

圏域内に大学がいくつかあるが、なぜ長岡技術科学大学が入居しているのか。

【事務局】

企業誘致におけるコンセプトとしては、新発田市の基幹産業は農業であり、そこから食品加工や、観光の誘客とつながるため、農業の底上げをして高付加価値化に取り組むことを旧天王小学校の活用コンセプトとしている。

昨年から新発田市ではオーガニック SHIBATA プロジェクトとして、農業の底上げ、高付加価値化、輸出に繋げる取り組みを進めており、オーガニック農産物の生産には様々な研究開発が必要であり、その考えに賛同いただいたのが長岡技術科学大学である。

現在、同大学はキネス天王にラボを設置しているが、同大学の微生物や水質の環境改善等の研究をしている先生方にこちらで研究をしていただいている。

【会長】

スタートアップという話があったが、入居企業はほとんど株式会社であり、例えば NPO や市民団体、学生などが入居するような工夫はないのか。

【事務局】

今は、先端企業と呼ばれる IT やドローンを活用するといった企業が入居を決められている。今後の一番の課題は若者や新たに起業する方をいかにして呼び込むかである。これは、定住自立圏の考え方にも合致していると考えており、キネス天王内の 2, 3 部屋については、首都圏等で技術を磨いた若者が帰ってくる場所として確保しようと考えている。

今後はそういった若者に入居済みの企業から指導を受けていただくような体制を作ろうと考えており、起業や就職に繋がる連携づくりを行っていきたい。

【会長】

そのような学生や若者に対しての補助やサポートはあるのか。

【事務局】

市には助成制度もあり、そういった若者のサポートをしていきたい。

【委員】

事業概要を「旧天王小学校の」から「小学校の空き校舎など」とする理由は。また、期待される効果とは具体的にどのようなものか。

【事務局】

事業概要の変更理由について。人口減少から学校の統廃合が進んでいる。当市でも同様であり、豊浦地区では 4 つの小学校を統廃合して豊浦小学校としている。ここ天王小学校以外にも本田小学校も綺麗な校舎でありながら空き校舎となっている。今後は、そういった校舎の活用可能性も検討するために、旧天王小学校に限定しない表記とさせていただいた。

**【事務局】**

天王小学校は既に IT 企業関係 7 社の入居が決まっているが、市の一番目指すところは、入居企業と市の連携や、若い方々が起業した際に、入居企業から指導を受けながら成長することを目指しており、企業同士が連携することで新たなビジネスの創出や、新たなイノベーションが起きることを期待している。

加えて、本田小学校では、キネス天王で研究したものを具現化していくような、連携させた新たな使い方を今後検討していきたい。

≪「無料法律相談事業」について≫

**【委員】**

令和 3 年度の実数値 6 となっているが、そんなに少ないのか。広報が足りていないのか。

**【事務局】**

KPI は「他市町への相談者」であるため、そのような数値となっており、実際、この事業は非常に人気の事業である。

≪「子育て分野」について≫

**【会長】**

急速な少子化に対応するためには、移住促進と子育て施策をセットで進める必要がある。選挙の争点にもなっている「給食費無償化」についてどう考えているか。

**【事務局】**

子育て支援施策は 3 市町それぞれの独自性を持ちながら取り組んでいる。給食費無償化について、当市では、市長もやりたいと言っているが財源の問題もあるため検討していきたいと考えている。

その他の支援策では、当市は新たに奨学金制度を創設し、新発田市に転入し、近隣自治体にお勤めいただく方への支援を始めることとしている。

人口減少の進む現在は、圏域内で人口の奪い合いをするのではなく、圏域全体で可能な範囲で協力しながら取組を進めたい。

≪「オーガニック SHIBATA プロジェクト」について≫

**【会長】**

韓国では給食に有機農業で栽培された野菜の提供を行っているが、そのような予定は。

**【事務局】**

有機農業の一番の課題は手間がかかることである。先程の説明にもあった通り、長岡技術科学大学と連携して、高付加価値化に取り組んでいるところであるが、有機農業に取り組む農家もまだ少ない現状である。海外では健康志向が強く、生産された農作物は輸出する方向で考えている。そのため、給食に提供するまで余裕がない状況である。

≪「在住外国人支援事業」について≫

**【会長】**

資料 1, 2 において、「在住外国人の被災経験が少ない」となっているが、実情と異なると思われるため、記載内容を検討してほしい。

≪「公共交通連携事業」について≫

【委員】

胎内市のデマンドタクシーは、乗客を金塚駅前まで送っているが、乗客から「県立新発田病院まで行ってほしい」という要望がある。事業内容に「打合せを行った」とあるが、どの程度の打合せを行っており、実現性はあるのか教えてほしい。

【事務局】

胎内市はデマンドタクシー、聖籠町はコミュニティバスが運行しており、そもそものベースの部分が異なるため、一気に合わせることは難しいと考える。聖籠町からコミュニティバスが新発田駅前まで運行するなど、できるところから進めている。

【委員】

聖籠町と胎内市では新発田市までの距離が異なる。新しい路線は難しいと思うので、今あるものをどうやって連携させるか、胎内市のデマンドタクシーが金塚駅前まで行っているのだから、そこから新発田市のコミュニティバスになんとか繋げられないか、検討してほしい。

【事務局】

担当課へお伝えさせていただく。

「(2) 連携事業の現地見学について」

※現地を回りながら説明（事務局）

【会長】

見学は可能か。見学の場合は、どちらへ問合せすればよいか。

【事務局】

可能である。見学を希望される際は、新発田市商工振興課へお問合せいただきたい。また、土日の場合も事前にご連絡いただければ対応する。

【委員】

小中学生に見学してもらうことも効果的だと思う。

【委員】

自治会連合会で毎月開催する執行部会や役員会において、会場確保に苦労している。キネス天王は使用可能か。（人数 50～60 人程度）その際、減免となるか。

【事務局】

企業の方にお使いいただくコンセプトではあるが、要望をいただければ施設を見学いただいたうえで会議の開催ということであれば大歓迎である。大人数が入る場所となると、体育館やホールも使用可能である。使用料は減免となる。

【委員】

施設の改装費は、定住自立圏事業に計上している約 5,200 万円で整備できたのか。

【事務局】

この度、定住自立圏での連携事業について書面協議いただき、事業費を活用させていただいたことを改めてお礼申し上げます。施設整備にあたっては、定住自立圏事業の約 5,200 万円のほかに、内閣府の地方創生拠点整備交付金も活用しており、そちらの事業費でも 6,000 万円ほどかかっている。

現地見学の際にも説明したが、学校施設から企業が入居できるようになるためには、防火シャッターの整備、火災報知器の設置など、防火対策が必要となったためである。  
おかげさまでこのような施設を整備することができたため、非常に感謝している。

【委員】

企業誘致の段取りや方法は。

【事務局】

入居企業は先端企業であるため、様々なネットワークを持っている。まず、長岡技術科学大学に入居いただけただけが誘致を進めるうえで非常に有利に働いた。企業へ大学の知見を活用できることをPRできたことが大きいと考えている。また、新潟経済同友会を通じて県内企業へ強くPRすることができた結果、県内企業の入居は進んできた。

今後は、首都圏などの県外のIT企業の誘致に力を入れて行きたい。

「その他」

【会長】全体を通じて、質問やご意見はあるか。

※特になし

【会長】以上をもちまして、議事を終了する。

※議事終了

○閉会

【事務局】

委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただき、また、貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。定住自立圏事業で整備した施設を実際にご覧いただき本当に良かったと考えている。ご意見については、担当課へも共有し、次年度以降の取組の参考とさせていただきたい。

次回の懇談会は、次年度の開催を予定している。資料の中でご不明な点やご意見等があれば、いつでも新発田市みらい創造課へ連絡いただきたい。

○懇談会終了